

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	フッソゴムシート
品番	FB750N
会社情報	
会社名	マクセルクレハ株式会社
住所	大阪市中央区久太郎町 2-4-27 (〒541-0056)
担当部門 (発行)	マクセルクレハ株式会社 品質保証部
住所	三重県津市観音寺町 255 (〒514-0062)
電話番号	059-226-4180
FAX 番号	059-226-4123
緊急連絡先	東 京 TEL (03)3832-6120 FAX (03)3832-6125 名古屋 TEL (052)411-1156 FAX (052)411-6477 大 阪 TEL (06)6271-8291 FAX (06)6264-7294 九 州 TEL (093)521-9083 FAX (093)521-9075

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	区分に該当しない
	可燃性／引火性ガス	区分に該当しない
	可燃性／引火性エアゾール	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発火性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：ガス)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉塵)	区分に該当しない
	皮膚腐食性／皮膚刺激性	区分に該当しない
	眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	区分に該当しない

環境に対する有害性	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	分類できない
	特定の標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	分類できない
	誤えん有害性	区分に該当しない
	水生環境有害性(急性)	分類できない
GHS ラベル要素	水生環境有害性(慢性)	分類できない
	該当しない	

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	フッ化ビニリデン系ゴム、ゴム薬品の混合物

改正化管法対応(R5.4.1)

危険有害成分	含有率(%)	平均値(%)	CAS No.	化審法	化管法(PRTR)	安衛法
1) オクタデシルアミン	-	0.46	124-30-1	^{2-185,2-133,2-176}	非該当	2-350
2) 水酸化カルシウム	1.0 - 10		1305-62-0	1-181	-	2-1120
3) カーボンブラック	1.0 - 10		1333-86-4	-	-	2-403
4) テトラヒドロチオフェン1,1ジ'オキサイト'	0.1 - 3		126-33-0	5-77	-	2-1274
5) 酸化マグネシウム	1.0 - 10		1309-48-4	1-465	-	2-628

※化管法対象物質でも、基準値未満の場合は、「非該当」と記載しています。

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な水で5分間以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で付着した部分をよく洗う、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
吸入した場合	加工時に発生する微粉末を吸い込んだ場合、直ちに空気の清浄な場所に移し、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水、炭酸ガス、粉末
特定の危険有害性	燃焼等により有害ガスを発生する可能性がある。
特定の消火方法	風上から、水等により消火する。
消火を行う者の保護	呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。
保護具及び緊急措置	有用な情報なし。
環境に対する注意事項	環境への影響は小さいが、長時間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

除去方法 全品拾い集め回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	研磨など粉塵の発生する作業を行う場合には、静電気による粉塵爆発の危険性があるため、堆積した際は除去する。 取扱い後の手洗い励行する。 重量物のため、落下しないように注意する。
局所排気	研磨など粉塵の発生する作業を行う場合には、局所排気装置等を使用する。
保管	
技術的対策	火気から遠ざけて、冷暗所で保管する。
混合物禁止物質	有用な情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	有用な情報なし。
設備対策	研磨など粉塵の発生する作業を行う場合には、静電気による粉塵爆発の危険性があるので、静電気除去装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	研磨作業等を行う場合、保護マスク
目の保護具	研磨作業等を行う場合、保護眼鏡
手の保護具	保護手袋
皮膚及び身体の保護具	長袖作業服、安全靴、作業帽
衛生対策	水と石鹼で付着した部分をよく洗う

9. 物理的及び化学的性質

外観等	黒色のシート状固体
臭い	微臭
沸点	—
揮発性	高温にて一部成分が揮発する可能性がある。
融点	—
引火点	—
発火点	—
溶解度	水に不溶。
可燃性	可燃性物質であり、燃焼等により有害ガスを発生する場合がある。

10. 安定性及び反応性

安定性	常温では安定で反応性に乏しい。
反応性	特になし。
避けるべき条件	有用な情報なし。
混融危険物質	有用な情報なし。
危険有害な分解生成物	燃焼等により有害ガスを発生する場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性	現在のところ有用な情報なし。
皮膚腐食性／刺激性	現在のところ有用な情報なし。
目に対する重篤な損傷／刺激性	現在のところ有用な情報なし。
呼吸器感作又は皮膚感作性	現在のところ有用な情報なし。
ガン原性	現在のところ有用な情報なし。
変異原性	現在のところ有用な情報なし。
生殖毒性	現在のところ有用な情報なし。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	現在のところ有用な情報なし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	現在のところ有用な情報なし。
誤えん有害性	現在のところ有用な情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	現在のところ有用な情報なし。
残留性／分解性	環境中で長期間残留すると考えられる。
生体蓄積性	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性	現在のところ有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却：管理された焼却設備を用いて“大気汚染防止法”等にしたがって焼却する。 埋め立て：廃棄物の処理および清掃に関する法律に従い、公認の産業廃棄物処理業者又は地方公共団体がその処理を行っている場合はその団体に委託して処理をする。
-------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない
国際分類	危険物ではありませんので該当しない。
国内規制	
船舶安全法・危規則	該当しない
航空法・施行規則	該当しない
	重量物のため、荷崩防止に注意する。

15. 適用法令

法規制	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（改正化管法） 労働安全衛生法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物、廃プラスチック類） 消防法（火災予防条例） 消防法 指定可燃物（3000kg 以上）
-----	---

16. その他の情報

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることをご理解した上で、活用されるようお願いします。
